

政策評価シート（第5次二宮町総合計画・後期基本計画）

まちづくりの方向性	戦略的行政運営
背景と現状	<p>自治体財政が厳しい時代が続くものと予想されることから、計画的な行財政運営を進めます。</p> <p>時代状況の変化や町民の要請に応えられる行政を目指して、柔軟で機動的な自治体経営、スリムな行政、他の自治体との連携による広域行政、将来像を実現するための戦略的なまちづくり、広報公聴機能の充実を進めます。</p> <p>また、「自治体経営の力」を向上させるため、まちづくり行政を担う職員の育成を進めます。</p>

※ 評価 「A：十分な成果があった」「B：一定の成果があった」「C：あまり成果がなかった」「D：成果が得られなかった」  
 ※ 方向性 「継続推進」「一部改善」「抜本的見直し」

重点的方針	評価					
	R 1		R 2		R 3	
	評価	方向性	評価	方向性	評価	方向性
4-1 効率的な行財政運営の推進	B	継続推進	B	継続推進	B	継続推進
4-2 町民とともにある自治体運営の推進と職員能力の向上	B	継続推進	B	継続推進	B	継続推進

※ 評価 「順調である」「概ね順調である」「一部順調ではない」「順調ではない」

内部評価（評価・理由等）	
概ね順調である	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4-1の施策においては、経常的経費と臨時的経費をしっかりと区分した上で、長期的な見通しを持って進める必要がある。</li> <li>・4-2の施策においては、個人情報に配慮しつつ、開かれた行政運営の確保を推進するとともに、人材育成を通じて職員の育成や業務の効率化による町民サービスの向上を図ったが、更なる時代に合った職員能力の向上やまちづくりへの町民参加の機会の確保を図る必要がある。</li> <li>・政策全体として、各施策ともに一定の成果が得られているため、推進は概ね順調である。</li> </ul>
外部評価（評価・主な意見等）	
概ね順調である	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少子高齢化と税収の減少は避けられないが、同時に行政サービスも減っていくことになるはずなので、町民を中心としたまちづくりの視点を持ちながら、行政のダウンサイジングが適正に行われるようにする必要がある。</li> <li>● 重点的方針に関連する予算事業の多さに対し、目立った成果や課題がないことは、行政として何もできていないものと捉われかねない。各事業における成果指標の設定や基礎評価における事業の評価など、適切に事業が遂行されているのであれば、それがしっかりと分かるようにする必要がある。</li> <li>● メリハリをつけた行財政運営は良いが、教育支援や登校困難者の教育支援設備の充実など、教育に係る事業については、移住・定住の選択肢となることから、削減せず重点的に実施していくべきである。</li> <li>● 町民とともにある自治体運営の推進と職員能力の向上については、町民の自主的な活動を支援する目的を有することから、町民活動推進事業も位置付け、より多くの町民の参画を促すことを目指すべき。</li> <li>● 町の魅力を効果的に発信できるよう、職員の課題検出力やコミュニケーション力を含めた広報力の向上を目指し、技能研修などを効果的に実施する必要がある。</li> </ul>

町の最終方針（今後の方向性）

継続推進	<p>基本構想「戦略的行政運営」については、外部評価において取り組みや成果が見えにくいと指摘されたため、これまでの取り組みをベースにしつつも、各施策がより町民に理解されることを念頭に次のとおり推進する。</p> <p>重点的方針4-1においては、さらなる人口減少・少子高齢化を見据えた行政運営をしていることを町民に知ってもらうためにも、行政評価や行財政改革の取り組み結果の公表方法について検討していく。</p> <p>重点的方針4-2においては、町民とともにある行政運営をさらに進めるため、町民活動のさらなる推進や地域コミュニティの活性化をより強力に進める。また、課題検出力やコミュニケーション力を含めた職員能力の適切に向上させるため、人材育成計画に沿った技能研修等を進める。</p>
------	--